

ほほえみ



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170
URL: <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



特集

新しい心臓・血管
治療を始めました

基本理念

命を育み、病を癒す、安心で最良の地域医療

基本方針

1. 私たちは、患者さんの命を守り、健康回復とその増進を責務とし、地域医療の充実と発展に努めます。
2. 私たちは、患者さん及びご家族の思いを受け止め、分かりやすい質の高い診療に努めます。
3. 私たちは、説明と同意を大切にチーム医療の推進に努めます。
4. 私たちは、地域医療機関との良好な連携強化に努めます。
5. 私たちは、弛まぬ研鑽と実践的な研修に努めます。
6. 私たちは、今後も地域基幹病院として、医療施設や職場環境の整備、効率的で健全な病院経営に努めます。

「自己心膜を使用した大動脈弁形成術」

心臓外科手術再開と施行している 術式についてのご報告

循環器科診療部長 村岡 理人

むらおか まさと



当院では平成18年から心臓外科手術は中断されて参りましたが、本年4月から東邦大学医療センター大橋病院心臓血管外科の協力のもとで手術を再開することが可能となりました。

同センター心臓血管外科尾崎重之教授を非常勤医師としてお招きし、外科医・臨床工学技士を含めたチームとして来院、当該患者さんの診療にあたる体制を確立致しました。心臓手術の再開にあたっては、医師・臨床工学技士・手術室スタッフが一定期間東邦大学医療センターにおいて研修・トレーニングを行い、現在も適宜情報交換・共有やトレーニング継続を行っております。

当院では、尾崎教授が考案・開発された「自己心膜を使用した大動脈弁形成術（通称・尾崎手術）」を積極的に導入し、現在まで4例の大動脈弁弁膜症患者さんに行い、いずれも良好な経過を見ております。これまでは、進行した大動脈弁弁膜症（閉鎖不全症・狭窄症）に対する外科治療は、カーボンを材質とする機械弁や、ブタの弁やウシの心膜を固定した生体弁のいずれかによる人工弁置換術が主体的な治療方法でした。これらは歴史や実績もあり現在でも有用な治療法・手術方法ではありますが、人体にとって異物であるが故に血栓症（特に脳梗塞）を生じやすく、その予防のためワーファリンという抗凝固剤を生体弁は一定期間、機械弁は一生涯内服する必要がありました。血液を固まりにくくする作用のあるワーファリンによって、一定の確率で脳出血や消化管出血といった出血性合併症が生じることがあり、効果が足りないようであれば内服していても血栓が出来てしまうということもありました。

「自己心膜を使用した大動脈弁形成術」では、患者さんご自身の組織しか使用しないため異物が体内に入らず、よって①ワーファリンを服用する必要がありません。さらにこの手術では、②生体に近い弁構造となるため弁の前後での圧力の差が少なくなり身体に優しい、③異物を使用しないため感染に対する抵抗性が強い、④高価な人工弁を使用しないため医療経済的にも優しいといった特徴があります。

平成19年から開始されたこの手術は、現在全国約23施設で約900例が行われており、尾崎教授はこのうちの約600例を執刀しております（当院は群馬県内及び北関東圏内唯一の実施可能施設となっております）。現在も国内大学病院・基幹病院はもとより諸外国（ヨーロッパ・東南アジア等）からも招請され、執刀や指導に度々赴いています。大動脈弁弁膜症は状態の割に末期まで症状が出にくく、手遅れ（手術不能）となるケースも見られます。既に大動脈弁弁膜症の診断を受けておられる患者さんや、フォローされておられる先生方に於かれましても、治療の一手段としてご考慮頂ければ幸いです。また、心雑音を指摘されている方や労作時の息切れが進行してきた方などは、一度病院でご相談頂ければと思います（当院循環器科での診察・診療も可能です）。

この術式以外にも通常の弁形成術・弁置換術、さらには狭心症・心筋梗塞といった虚血性心疾患に対して人工心肺を使用せずに血行再建を行う心拍動下冠動脈バイパス術（3例実施）など心臓外科手術一般を取り扱っております。

今後も桐生地域の医療のため微力ながら貢献していきたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い致します。

下肢静脈瘤血管内レーザー手術を始めました

外科(血管外科)診療部長 出津 明仁



血管外科は、頭部や心臓を除く全ての血管を対象としています。代表的な疾患としては、①腹部大動脈瘤、②閉塞性動脈硬化症、③下肢静脈瘤があります。

下肢静脈瘤治療においては、平成23年1月から血管内レーザー焼灼術が保険適応になりました。当院では平成25年7月から群馬県で初めて下肢静脈瘤に対する保険診療でのレーザー治療を開始しました。

下肢静脈瘤とは、下肢の浅い部位に存在する静脈(大伏在静脈、小伏在静脈)の逆流防止弁が壊れたために、下肢表面にある静脈に血液が貯留し、瘤(こぶ)状に膨れたものです。症状としては、醜形(見た目の問題)、足のだるさ、こむら返り、むくみなどのほか、下腿の色素沈着や潰瘍(皮膚がえぐれる)などの皮膚症状があります。治療は圧迫療法(ストッキングや包帯を使用)、硬化療法(静脈瘤を硬化剤注射で固める)、手術治療(ストリッピング、高位結紮術)、レーザー治療などがあります。最も根治性の高い治療法として、これまでストリッピング手術が行われておりました。これに代わる方法として、レーザー治療が現在行われております。レーザー手術は局所麻酔で施行でき、鼠径部(太ももの付け根)の切開が不要、伏在静脈のストリッピングが不要(抜去せずに、レーザーで静脈を閉塞させる)であるため、痛みや内出血が少なく、短期入院で治療が可能などのメリットがあります。ただし、膝下にみられる拡張した静脈瘤自体はレーザー焼灼では治療できませんので、硬化療法や小切開での静脈瘤切除が必要となる場合がありますが、傷は3mm程度にとどめ、美容面に配慮しています。

下肢静脈瘤が気になる方は一度血管外科を受診してみてください。



図1 下肢静脈瘤
(左大伏在静脈逆流によるもの。膝部から下腿にかけて静脈瘤が目立つ)



図2 手術中
(左膝部からレーザー治療用のカテーテルが挿入されている。超音波検査で確認しながら、大伏在静脈を焼灼する。その後、小切開での静脈瘤切除を行う。)

冬の感染症

ノロウイルス感染症に注意しましょう

医療局長 くわしま 桑島 まこと 信



ノロウイルスは、主に12月から3月にかけて流行する急性胃腸炎の原因ウイルスです。同じような症状を呈するロタウイルスが乳幼児に主に発症するのに比べ、ノロウイルスは、小児から老人に至る幅広い年齢層に発症します。感染経路は口からですが、ヒトからヒトへの感染ばかりでなく、食品を介して感染する食中毒の主な原因ともなっています。食品としては汚染されたカキまたはその他の二枚貝が原因となるとされ、生や加熱が不十分なまま食べた場合に発症します。下水から河川に排出されたウイルスが海で二枚貝の中に濃縮されているそうです。

感染したヒトの吐物や便に触れた後の手洗いが不十分だと、直接に、またはその手で触れた環境の表面を介してヒトに感染します。

症状は嘔気・嘔吐、下痢が主で、腹痛、発熱を伴うこともあり、乳幼児や老人では脱水や吐物による窒息に注意が必要です。診断として便中の抗原迅速診断キットがありますが、80%程度の感度に留まります。治療は対症療法で、水分補給のため可能ならば「経口補水液」を、それができなければ点滴で補液します。

予防法は感染経路を断つことです。

具体的には…

①手洗いをしっかりと

特に食事前、トイレの後、調理前後は石鹸で良く洗い、流水で十分に流しましょう。アルコール消毒はノロウイルスにはあまり効果がないと言われています。



②ヒトからの感染を防ぐ

乳幼児や高齢者の下痢便や吐物に大量のノロウイルスが含まれていることがありますので、オムツの扱いには充分注意しましょう。



③食品からの感染を防ぐ

加熱して食べる食材は中心部までしっかりと加熱しましょう（85℃1分以上の加熱が必要です）。調理器具や調理台はいつも清潔に保ちましょう。まな板、包丁、食器、ふきんなどは使用後直ぐに洗いましょう。熱湯での消毒が有効です。



病院では、院内で感染が広がる事がないよう病室の配慮や職員の手指衛生など努力していますが、面会の方・付き添いの方も流水と石鹸で良く手を洗うなど、病原体を運ばないようにご注意・ご協力ください。



3階病棟プレイルーム



おもちゃの寄贈を受けました



『子どもの療養環境改善募金』より、ママごとキッチン、木のつみき、発達を促すおもちゃ、ボードゲームなど、赤ちゃんから学童期の子ども達の成長発達に合わせたおもちゃが寄贈されました。子ども達の「入院中だって遊びたい」「病気だって楽しいことをしたい」という気持ちに寄り添えるプレイルームに変わりました。

病棟の行事

看護師・保育士・医師が協働して、季節の行事を行っています。



クリスマス会



なつまつり



子どもの日

第3回

ハッピー健康相談室 ～看護部～

皆様が、日頃疑問に思っていること、困っていることを気軽に相談できる場所として、ハッピー健康相談室を開催いたします。皆様お誘い合わせのうえお越しください。

日時 11月13日(水)・11月14日(木) 14:00～16:00

場所 桐生厚生総合病院 1階正面玄関脇 情報コーナー

参加費 無料(事前申し込み不要)

駐車場 無料(桐生厚生総合病院の駐車場をご利用ください)

内容 11月13日(水)
褥瘡予防と栄養管理：NST専門療法士・看護部
感染症から身を守ろう！胃腸炎・インフルエンザ予防
：感染管理認定看護師

11月14日(木)
骨粗鬆症について(カルシウムの取り方)：食養科
足裏マッサージでリラックスしませんか？：看護部

問い合わせ先 地域医療連携室 0277-44-7150

クリスマスコンサート 開催のお知らせ



今年もリヴィーエール合奏団の方によるクリスマスコンサートを開催します。クリスマスにちなんだ名曲の数々をお送りいたします。



日時 12月14日(土) 13:00から



場所 1階エントランスホール(正面玄関付近)

皆様のお越しをお待ちしております。 共済会 文化部

(外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)